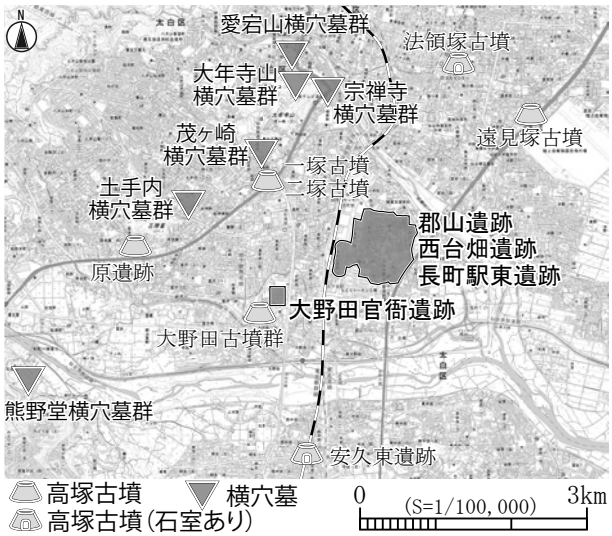
大野田（おおのだ）官衙遺跡

仙台市教育委員会　及川謙作

所 在 地　宮城県仙台市太白区大野田５丁目ほか
立地環境　名取川と笊川に挟まれた標高約 10 ～ 12 ｍの自然堤防上
検出遺構　掘立柱建物、溝
年　　代　７世紀末～８世紀前半



第１図　大野田官衙遺跡と周辺の遺跡

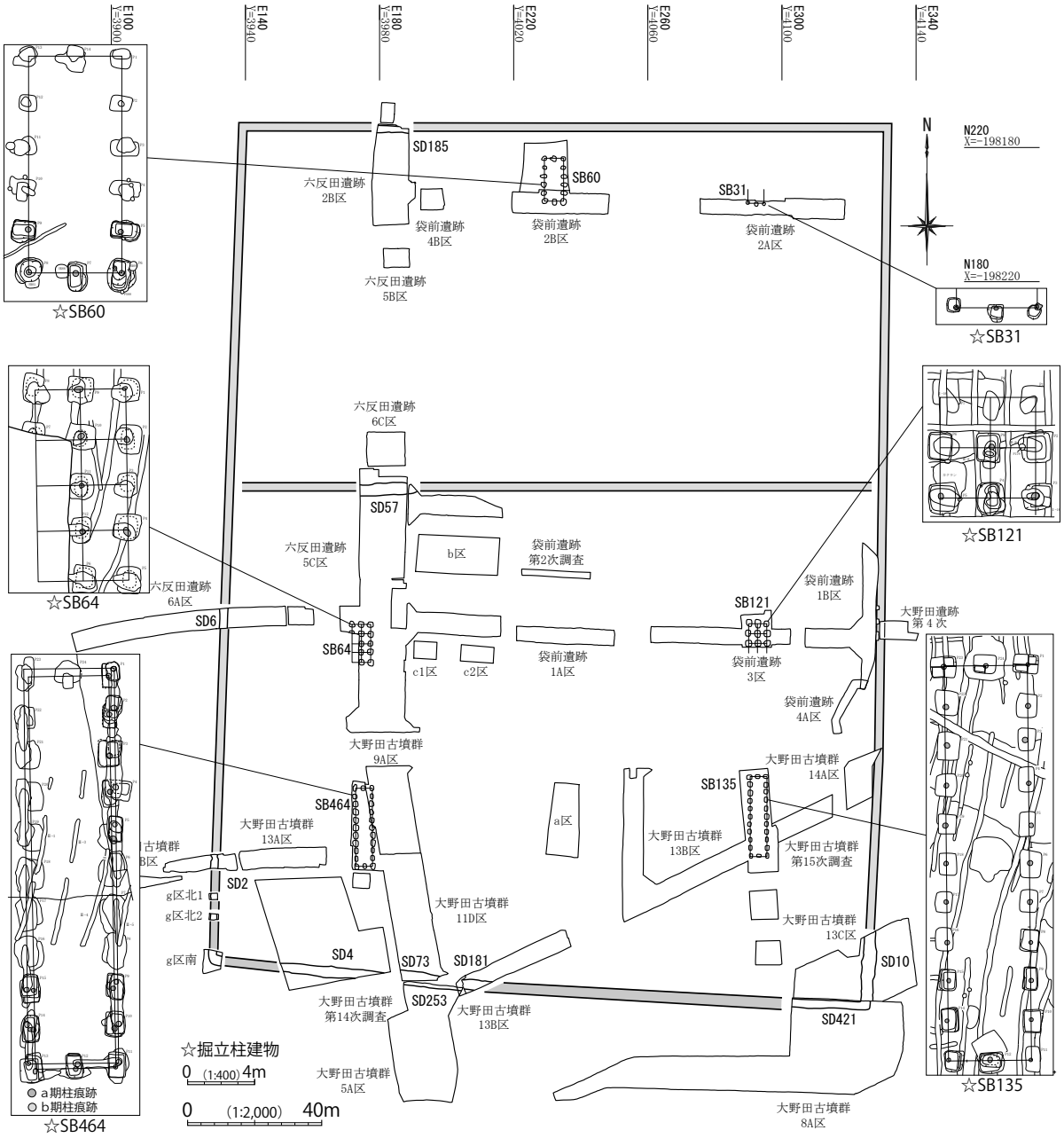
遺跡の概要

大野田官衙遺跡は仙台平野中央部、郡山遺跡から南西約 1.5 ㎞の笊川の左岸、標高約 10 ～ 12 ｍの自然堤防上に位置する（第１図）。平成６（1994）年以降、当該地周辺は「富沢駅周辺土地区画整理事業」に伴い発掘調査が継続的に行われた。平成 13 年度以降、区画整理地内の袋前遺跡などから、古代の大型の掘立柱建物や長方形にめぐる大溝が検出された。大溝がめぐる範囲内には掘立柱建物が規則的に配置されており、内部を区画する溝も検出された。この範囲内からは同時代の遺構は他に検出されず、上記の遺構群が計画的に配置されていることが確認されたことから、これらの遺構群は古代の官衙遺構であることが判明し、平成 21（2009）年にこれらの遺構群が検出された範囲が『大野田官衙遺跡』として新たに登録された。遺構の造営年代も７世紀末から８世紀初頭頃で、これは近隣の郡山遺跡のⅡ期官衙が造営された時期とほぼ重なることから、陸奥国府である郡山遺跡とも密接な関係にあるものと推測されている。

溝は掘立柱建物群を長方形に囲む外郭溝と、官衙内を南と北に区画する東西方向の溝（SD57）が検出されている（第２図）。外郭溝の範囲は南北約 248 ～ 261 ｍ、東西約 194 ｍで、西辺の溝が東辺の溝よりも若干短い。溝の規模は、幅約 1.5～3.3 ｍ、深さは 0.75～1.3 ｍで、断面形状は逆台形を呈するが、掘り直されている箇所もある。堆積土の上層に灰白色火山灰が堆積している箇所も存在する。

遺物は大野田遺跡の第４次調査区で検出された外郭溝の東辺である SD3 溝の第４層から、８世紀前葉以前に比定される土師器の小型の甕が出土しているほか、北側の区画溝からは凹面に桶巻痕が残存し、凸面には短縄叩きが施された後にナデ消し調整が施された平瓦が出土している。また SD57 の最上層からは９世紀後半頃に比定される内面黒色処理されたロクロ土師器の坏が出土している（第３・４図）。このように堆積土の状況や、出土遺物の様相から、溝は７世紀末から８世紀初頭には掘削され、９世紀後半～ 10 世紀前葉には埋没したものと考えられる。

外郭溝の内側の官衙域内からは６棟の掘立柱建物が検出されている（第２図）。建物の配置をみると、東列（SB31・121・135）と西列（SB64・464）の建物群に大きく二分され、東西に並列する形で配置されている。また両者間の南北中軸線上の北側に SB60 が配置されている。いずれの掘立柱建物も真北方向を基調とし、妻柱列も側柱列も他の建物の柱列と同一線上に配置されている。また SB64 と SB121 の２棟は２間×４間の総柱建物で、倉庫的な機能を有していたものと考えられている。またその南側の SB135 と SB464 は２間× 10 間（桁行 4.50 ～ 4.95 ｍ×梁行 23.55 ｍ）の側柱建物で、長大な規模を誇る長舎構造である。規模としては郡庁の脇殿に匹敵する規模を誇る。これらの建物の中には建て替えられ２時期にわたって使用されているものや、最終的には柱が抜取られているものも多

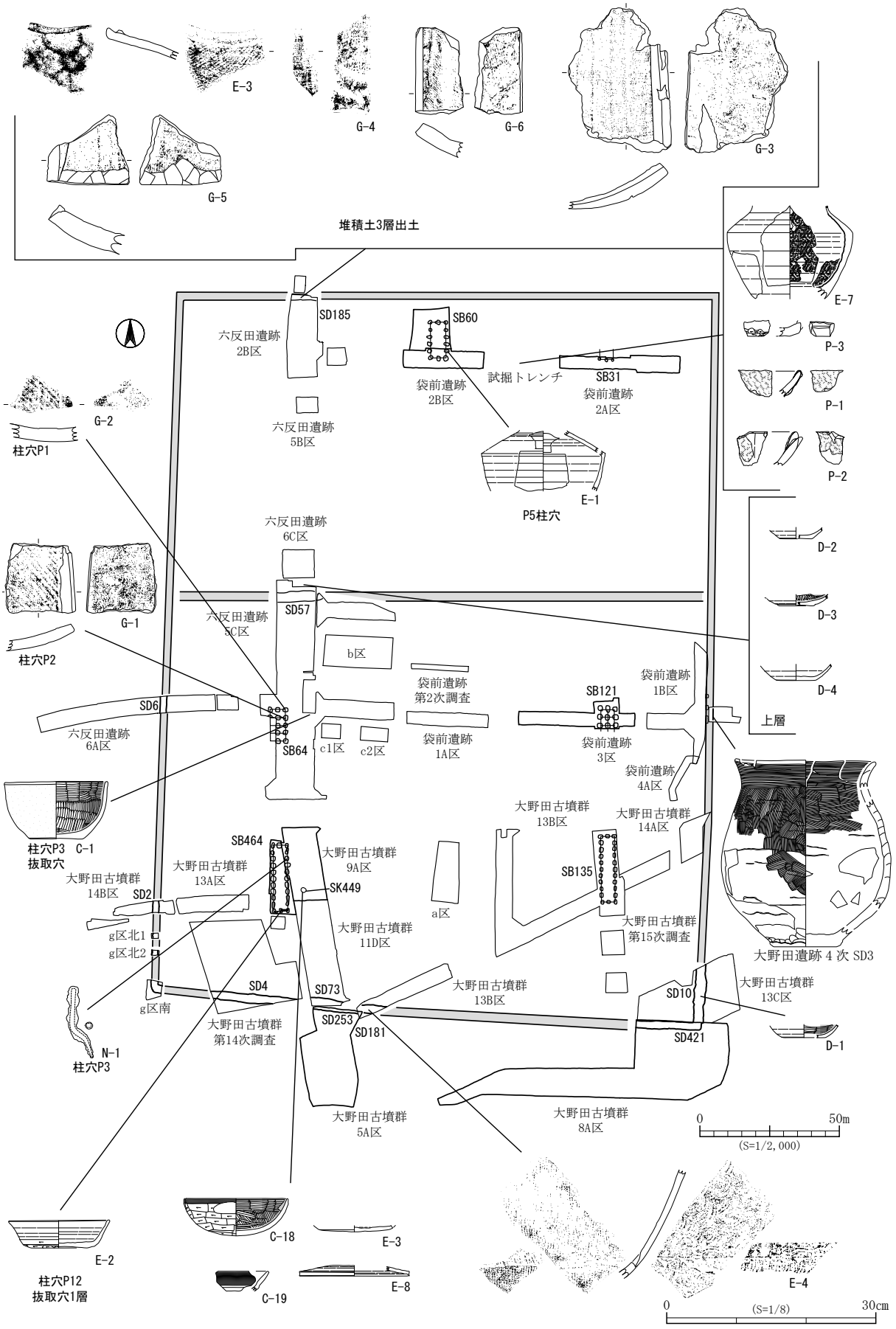


第２図　大野田官衙遺跡全体図（仙台市 2011 に一部加筆）

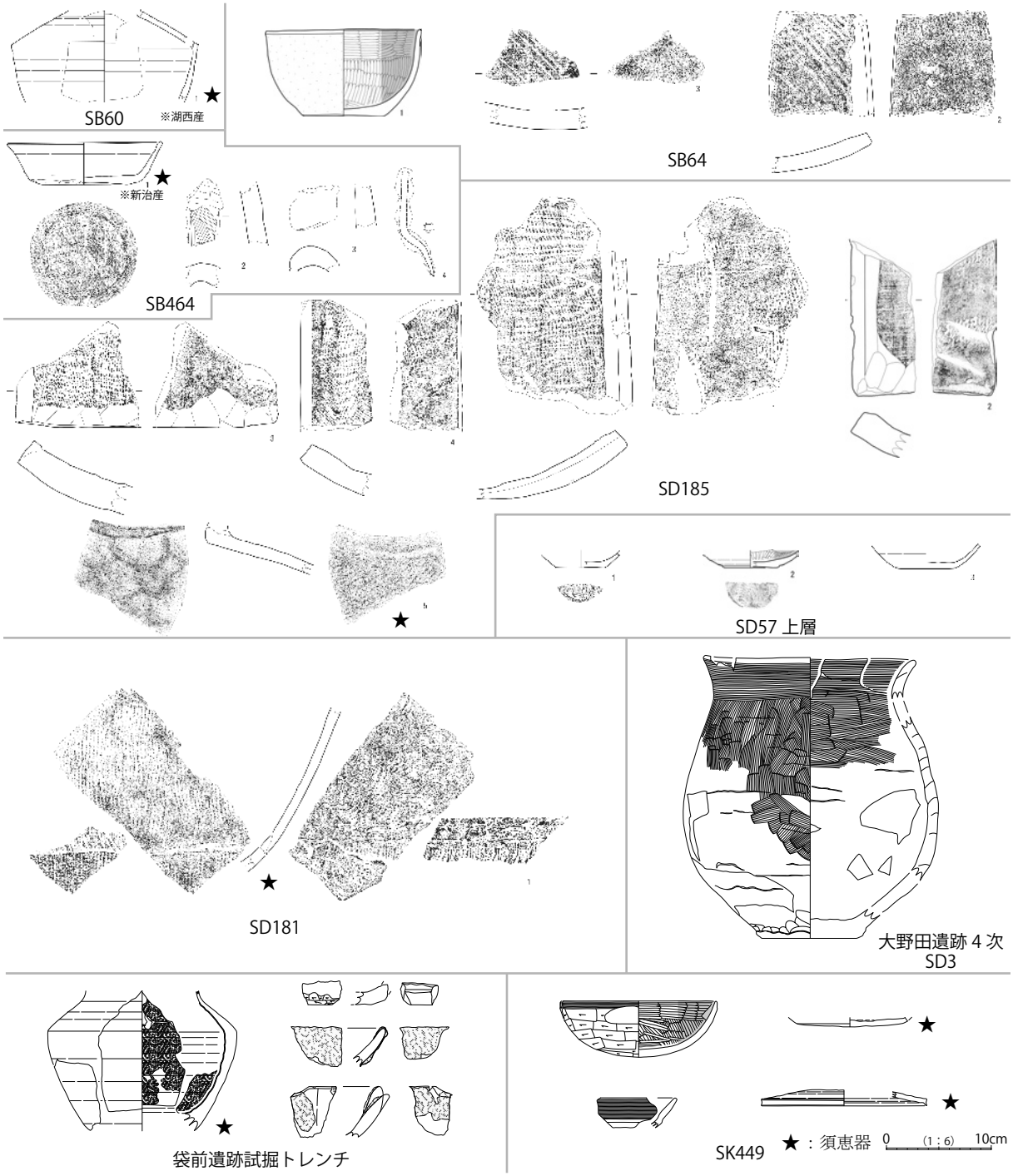
い。遺物は内面黒色処理された土師器埦や、須恵器の長頸壺（湖西産）、桶巻造りの平瓦、羽口、鉄釘のほか、SD464 の抜取り穴から茨城県の新治窯跡産の須恵器坏が出土している（第３・４図）。時期はいずれも８世紀初頭から前半であると考えられている。

それ以外にも各調査区からは須恵器の甕、短縄叩き後にナデ消し調整されている桶巻造りの平瓦、鞴羽口片、鉄滓多数、内面に漆が付着した須恵器の壺片、とりべ片などの鍛冶関連の遺物が出土している。これらの遺物の年代は、いずれも８世紀前葉であると考えられている。

大野田官衙遺跡の性格については、これまでにも名取郡衙の別院や、軍団施設などの機能が考えられてきているが、現段階では不明である。しかし廃絶時期が郡山Ⅱ期官衙と同時期であることから、陸奥国府の何らかの機能が付与された官衙であったものと考えられている。



第３図　大野田官衙遺跡遺物出土状況図（仙台市 2011 に加筆）



第 4 図　大野田官衙遺跡出土遺物（仙台市 2011・2014 から作成）

関連文献

及川謙作 2021「陸奥国府における造瓦技術の受容と変遷（1）―郡山遺跡と大蓮寺窯跡の瓦を中心に―」『宮城考古学第 22 号』

及川謙作 2022「陸奥国府における造瓦技術の受容と変遷（2）―大蓮寺窯跡と東北各地から出土した瓦との比較を中心に―」『宮城考古学第 23 号』

仙台市教育委員会 2005『郡山遺跡発掘調査報告書　総括編』仙台市文化財調査報告書第 285 集

仙台市教育委員会 2011『下ノ内遺跡・春日社古墳・大野田官衙遺跡ほか　仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅱ』仙台市文化財調査報告書第 390 集

仙台市教育委員会 2014『仙台平野の遺跡群 24 －平成 25 年度発掘調査報告－』仙台市文化財調査報告書第 428 集